

年月日	23	12	20	ページ	28	N.O.
-----	----	----	----	-----	----	------

## 富士電波工業社長 横畠 俊夫氏

小学生の時から熱狂的なブレーブス（現バファローズ）ファンの富士電波工業（大阪市淀川区）社長の横畠俊夫さん。今季は60試合観戦。「チーム唯一の一流打者だった吉田正尚選手が抜けたのにリーグ3連覇したことは本当に偉業」と振り返る。日本シリーズもホームゲーム4試合を観戦したが、「第7戦の青柳投手は打てる気がしなかった」とちょっと悔しそう。

新しい選手が次々と登場しては活躍するのが現在のバファローズの強み。四半世紀にわたる低迷時期と比べて「良い試合が増え、個性的な選手も増えてきた。チームがうまく回っていると感じる」と喜ぶ。かつては試合観戦が「修行のようだった」



と苦笑いし、女性ファンが増加した球場の変化も実感。「若い女性が集まらないエンタメは衰退する。良い傾向と思う」と話す。

来季はエースの山本由伸投手が大リーグに挑戦。それだけに「フルシーズン、どこまで絶対的なエース級のピッチングを見せてくれるか楽しみ」と新人王の山下舜平大投手に期待をかける。リーグ4連覇については「可能性はないことはないと思うが、一番の優勝候補はソフトバンクでは」とあくまで慎重だ。

**新しい選手活躍が強み**